たちまち大なる鳥一羽地におちかゝりけるを見てみんなまにかゝらせ眼乃ごとく觜(くちばし)は斧(をの)乃ごとくにしてあの翅(つばさ)のひろさ六里(り)があいだにひろがれりそれと知の物(もの)をきまふる人は見えざりければ是(これ)は大鵬(たいほう)といふ鳥(とり)乃雛(ひな)なりといへりしかれども其の大鳥(だいてう)をといへども鶴(かく)乃眼(まなこ)よさえぎる所とはいそぎともせいかなしまれどもいつく鶴(かく)よ勇猛(ゆうまう)乃いきほひはかちはおもひはかるべし

あるとし支遁(しとん)といふ人は法師よ鶴(たづ)と馬(むま)とをこれみん愛(あい)してやしなひけるとのえどもはひよそるられ物なるげなし人その所以(ゆへん)をとひければ鶴(たづ)と馬(むま)はその乃すぐれて勇俊(ゆうしゅん)なる所を愛(あい)するなり猟(かり)ところをこれむもじ何乃がおもしろそのかたちを愛(あい)する所乃ことしといへり又亢坦(くわうえん)といふ人はたとひ三日食(しよく)せずとも一日も猟(かり)せざるべからずといへり又斉(せい)乃存(そん)斯(えん)といふ人は法師よ鶴(たづ)を履(くつ)よ畜くわいせし人へ宋(そう)徽宗(きそう)皇帝(くわうてい)もよく鶴(かう)を[illegible]いせし人なり天竺(てんぢく)にて釈尊(しやくそん)因行(いんぎやう)ましくて尸毘王(しびわう)と申(まう)せしとき檀度(だんど)乃行(ぎやう)を